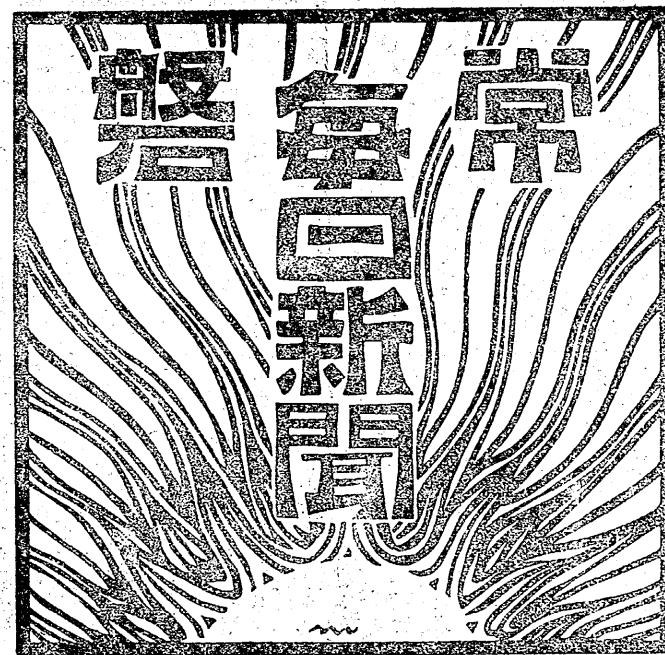


發行兼編輯人 川崎文治

本社下町香地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



定部金貳錢 廣五號十二 刊休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

刊夕日五十月一

常盤毎日新聞 幸福なる社會 馬場恒吾 (一) 幸福なる社會とは遂に屢氣樓のやうなもの乎。近く見えて、近よれば消れてなくなる如何なるを幸福な社會と云ふそんな事を想像するのを、社會科學者はユーロピヤを畫くものとして笑ふとして彼等は階級闘争を高唱して、そのみが理想社會に行く道だと云ふ。何故さうして闘争々々と呼ばなければならぬのであらう大戦五年。戦後六年、血は

濁水の如く流された。國と國とが争ひ團體と團體とが争ひ、人と人が争つた。爆弾と、火薬と、劍の音それに加へて、人の嗚る聲神經の尖つた顔付、これだけでも人類は闘争氣分に呪はれてゐるのではないかと思はれる。もう、闘争は澤山ではない乎。闘争に依つて社會が幸福になるとは、闘争に疲れたる今日の人類に容易に納得出来ぬ説である。さればと云つて、吾々は幸福な社會を逐はないのではない、疲れたる旅人が疲れたる足を曳すり、屢氣樓を逐つて行く如く吾々は幸福なる社會に憧れて行

く。五年前に總理大臣であつた原敬が普通選舉論者を非難して彼等は階級打破を唱へて社會組織を脅威するものだと云つた。これは津々浦々に迄宣傳せられて有名な文句になつた。と云つて、原敬は戰つたのである。戰ふ者に向つて彼は戰つて、終に東京驛で殺された。戦ひは戦ひを呼び其戦ひは又他の戦ひを呼ぶ、終に、何人を幸福ならしめたを知らない。(つゝ)



白山 岩石材 販賣 小名 岩材 所 諸花岡石材 所 御注文次第迅速仕候 平町月見町 喜多林之助 各種 建築 寒暖計 関内藥局 電話四〇番

川 粧 化 オ 驗 石 ニ ク カ 鏡 十 個 壹 平町四丁目 電話百四十 ツルヤ

家 賃 新川町二階付 商店向 二十五圓 新川町二階付 勤人向 七圓 中野勇吉 平町新川町電話一三三番 京都産出瓦斯販賣 行聲座隣

うざん。そば うなぎ。天井 親子井五もく まつや 平町長橋町 牛鍋仕出相始め候 三二二二二二屋

第二 病室 増設 院長 醫學士 高久忠 副院長 新潟醫學士 赤羽清 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄 平町田町電話三一五番

原齒科醫院 平町土橋通り電話三二一番 齊藤寫眞館 美術寫眞引伸専門 支那朝鮮 日 鮮 館 料理專門

機械と鐵骨組立吉田伴吉商店 電機ミターピンポン吉伴鐵工所 平電話三二五番 コツクは支那人 必らずお氣に召す 女給は朝鮮女 純朝鮮料理を開業 世界的に最も賞讃を博しつゝある支那及び朝鮮の變つた料理を朝鮮美人の優しい手に依つて皆々様の前に提供します、是非一度御試食の程をお待ちして居ります 平町白銀町一〇(元北郷醫院跡) 支那朝鮮 料理專門 日 鮮 館

吉田屋染工場 手拭、消防被服 印半天、風呂敷 專染所 平町五丁目 電話五五八番 吉田屋染工場

銀 べな 御入浴も御隨意です御散歩の折に是非從來同様御運び御風味の程を御願いたします 牛豚 氷 石川亭 平町田町電話四十三番

新年宴 大、小、に不拘特に勉強致し、ますから相變らず御用命を御願申上ます 平 驛 前 電長二二二番 丸新館

赤心堂 病院 平町田町 電話四七五番

看護婦派出 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

龍功散 本舖 渡邊龍功堂 平町三丁目電話百八番

藤田榮助 藤田家傳 代價拾錢 平町田町電話三二六番

兇犯の翌日 縄を掛けた大手柄

夫れには人知れぬ 苦心が潜む……

前科十犯の兇賊石川縣生れ水上健太郎(三九)は昨日迄に餘罪廿餘件を白日した。確かに平署近來の捕りものとしてお手柄の随一である、而し犯行後の翌朝機敏にも是れを逮捕するに至つた平署各刑事の人知れぬ苦心は容易なものではない。

本署が盗難を知つたのは十二日の午前七時頃であるが電話の届出を受けた樫村署長は吉田刑事部長其他と共に現場を臨検直ちに署に引上げて捜査の

方針を 定めた、此

時他からも二件の盗難届出があり何れも遺り口により察して同一人と鑑定を下したのである、先づ鐵道便の怪しい發送物の有無を調査して後早速贓品の品目を騰寫刷となして附近の各駐在所に急使を飛ばし一方村上猪狩、森山、佐藤、柳原の

刑事は 好問方面

ら内郷及び湯本から磐崎方面に走つて捜索の手を伸し初めた、同日の夕刻頃である湯本の駐在巡査から前記騰寫刷の中にある品目と符合する遺留品が某賣店の店頭にあつたとの飛報が平署に齎された、ソレと云ふので

平署は 各刑事に湯

て水上に縄を打ち凱歌をあげつ、平署に引き上げたのである

警中上級生の 受験準備

模き試験を行ふ

平町縣立警城中學校の四五年生上級學校志望者は昨今

平町外四ヶ村から 夏井川改修に寄附

つづれ地買収に當り

近く著手することになつた石城郡神谷村地内の夏井川鹽堤防改築により平町地方の水はけはよくなる代り下流同村下神谷より夏井、高久、大浦地方は石城郡大浦村仁井田浦地先夏井、川口の堆砂を除き川身

一帯を 改修せねば

下流は一層被害が大きくなる

と騒ぎ出したが縣では十五年度においても神谷飯野地先の堤防を改築し豫算二萬六千圓を計上縣會の議決を経たので本年四月年度替りとなるを待つて

出水期 に入る前更

素人がよくやります事です

が、美味しく出来ないので分量がわからない為であり



庭家欄

調味の割合

▲ウナギ蒲焼に使用するタレは醤油一升に味りん二合五勺、白砂糖七十五匁、鰹の煮出し三合の割合で弱火にかけて、約一時間煮つめます

▲天ぶらの汁は、カツヲ節十匁に砂糖十五匁、水八合七勺、醤油二勺の割合であります

敢なき最後

坑夫達の悲み

小田炭礦社長の一番上の兄である京野吉蔵は舊臘卅一日の晩越しの酒に泥酔して弟である京野吉太郎を左能て散々殴り瀕死の重傷を負はせ殺入未遂として平刑務所に收監されたが吉太郎は好問病院にて加療中途中に十四日午後四時五十分死亡した同人は非常に俠氣に富み小田社長とは全々心が合はず水道問題で愚弟が平町の人々に御迷惑を掛けた事には誠に相濟まないと口癖の様に云つて居たが此頃では資本家對労働者の問柄を圓滑ならしめんと勞資協同會の組織に奔走中此不慮の兇撃を受けるに至つたものにて小田炭礦の労働者達は非常に其死を悲しんで居ると

耳の兎

五臟六腑が全部く

ら替へ 二十三日

午前岩手縣花巻町

共立病院に診察を

求めに來た盛岡市カジ町生

れ吉田新太郎(三九)は

心臓が右にありその他五臟

六腑が全部入替へた内臓

いふが全部入替へた内臓

金子協士は學界の珍品だと

喜び目下研究中である

鳥鍋またはドジョウ鍋

(二人前)は肉十四匁に水三勺

醤油一勺砂糖三匁、の割合であります

▲親子丼(一個)は鳥肉十二匁、に玉子一ヶ水四匁に

醤油一勺砂糖一匁の割合で

あります。鰹節は何れも上等を用ひます

各種の方面から 平町を覗く……(その七)

呉服商から見た娘風俗

△……呉服物の賣れ行きは一種の其時代の反影を示す、三井呉服店の柏原氏が語る所に依れば目下は御祝儀物の書き入れ時だとの事

△……夫れは舊歴の來年が寅歲だと云ふので虎は千里行つて千里歸る折角嫁に行つても歸つて來る様な事があつてはどの縁起から此の舊暮れに祝儀を濟さうとする向が多い為めである事は説明するに及ぶまい

▽……先づ平町の娘達が喜ぶのはどんな着物かと云ふに伊勢崎の紫紺地に飛模様が云つた調子でそれに華やかなシルを掛けてシャナリ、これが平町の現代

娘風俗と御座い、但し髪型もは不馴れな手で結つた丈に未だ垢附けのしない出来そこないのオールバック、コレハ失禮……

△……一時は安いの一盞張りで非常な流行を示した瓦斯綿がトント賣れず今ではモスリンが大々的の全盛、一寸錦紗に見える所が嬉しいのださうでネコモシヤクンも「モスリン頂戴」と押し掛ける

▽……よい物では錦紗小紋がよく捌けお召しは下火、色彩の調子はどうかと云ふに小豆色、なす紺、ローズが喜ばれ紺地は受けない

▽……話しは前に飛んで御祝儀物等も景氣の好い時は隣りが千圓の仕度ならコチラは千五百圓と云ふ様な張り込みだたつが今日では其反對になつたと云ふ事も節約流行の當節がうかがはれて成程ナ

宣傳ピラは 路傍詩

文藝青年等の

最近「タランテラ社」として平町の辻々に貼り出されたピラが時節柄或種の不穩文書なるかに思惟され一部の神經をさがらせたる旨既報の如くであるが、右はその後に至り前記タランテラ社は平町在住文藝愛好青年

募集

文藝其他投稿を募集します

の小集團にてピラの文字はその路傍詩なること判明した尙該社同人は一種暗示めきたる斧字を而も貼り出した形式によつて發表したる

職業紹介所が 近く移轉する

田町大通りに

平町職業紹介所は大正十三年十月開所以來逐日取扱ひ件數の増加に伴ひ現在の事務所にては頗る狹隘且不便の點多々あるので近く田町大通りの三二三屋牛肉店西側に移轉する筈であるが建設費は十七坪五合五勺にして設備等も極めて完全な設計になつてゐる